



錦町議会だより

ゴミ

2019. NO
129



シリーズ 錦町の問題点
西ウサイタルスナーショウ
ルール無視の不法投棄!!



6月 定例会

追加予算約6億2千万円を可決

令和元年第2回定例会は、6月10日から17

日までの8日間の日程で行われ、平成31年度各会計補正予算4件、条例改正等9件、報告1件、人事案件1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり同意、可決した。

また、陳情3件が上程され、総務建設常任委員会に付託した結果、継続審議となった。議

会最終日の17日には、錦町議会活性化特別委員会設置についての議案が上程され、原案のとおり可決したほか、14日の藤川議員による一般質問時に荒川議員が議事進行妨害を行ったとして処分要求書が上程され、荒川議員に

対する処分について懲罰特別委員会（岡田武志委員長）に付託した結果、「荒川議員の発言は、個人情報保護及び親族等の心情を考慮するとやむを得なかった。」として「懲罰を科すべきではない」と決定され、起立採決により賛成8、反対2で可決された。その後、

藤川喜一錦町議会運営委員会委員長に対する不信任及び解任決議の動議が提出され、追加日程で上程、審議した結果、賛成9、反対1で可決された。

今回の一般質問には、新議員を含め7人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

① 錦町農業就業改善センター管理条例を廃止する条例

同センター2階会議室を企業に貸し付ける場合には、行政財産では貸し付けることが

できないことから、普通財産へと移行するため条例を廃止するもの

② 錦町の行政財産及び公の施設使用料条例の一部を改正する条例

錦町農業就業改善センターを普通財産に移行することに伴い改正するもの

③ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

投票立会人等の費用弁償及び錦町農業就業改善センター管理条例の廃止に伴い改正するもの

④ 錦町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法改正による低所得者の保険料軽減強化に伴い改正するもの

⑤ 錦町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い改正するもの

⑥ 錦町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める省令の一部改正に伴い改正するもの

⑦ 錦町森林環境譲与税基金条例

本年度創設された森林環境譲与税に合わせて、森林整備等の事業を効率的におこなうための基金新設に伴い制定するもの

⑧ 熊本市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

本規約に規定する交通災害事務から、令和元年8月31日をもって「合志市」が脱退することに伴い規約の一部変更について同文議決を求めるもの

その他

① 普通財産の無償貸付について

旧錦町農業就業改善センター2階会議室及び土地の貸付

熊本市東区桜木4丁目1-48

株式会社 キャップドゥ

代表取締役 森田晃輝

報告

① 平成30年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書

人事案件

錦町農業委員会委員の任命について

住所 錦町大字一武1988番地
氏名 税所 隆則

目次

● 6月定例会	2
● 錦町活性化委員会を設置	3
● 第2回定例会一般質問事項一覧	4
● 7人が一般質問	5
● 議会のうごき	11
	12

錦町議会活性化委員会を設置

～同日、処分要求書及び議会運営委員長の不信任及び解任決議提出される～

議会最終日の6月17日、錦町議会活性化特別委員会の設置に関する決議が上程され、全会一致で可決された。

また、同日、藤川喜一議員の荒川孝一議員に対する処分要求書が提出され、岡田武志議員を委員長とする懲罰特別委員会に付託、審査のうえ、「懲罰を科すべきではない」との報告を受け、起立採決の結果、賛成8人、反対2人の賛成多数で可決され、荒川孝一議員に対しては懲罰を科すべきではないとされた。

その後、藤川喜一錦町議会運営委員会委員長に対する不信任及び解任決議が動議により提出され、追加日程で上程、審議の結果、賛成9人、反対1人の賛成多数で可決された。

議案等	提出者及び賛成者	提案理由等（要約）
錦町議会活性化特別委員会の設置について	提出者 荒川孝一 議員 賛成者 岡田武志 議員 池田秀晴 議員	地方分権の推進により、議会の責任と権限が一層高まるなか、本町議会における様々な課題等について調査を行い、議会の活性化を推進するため、設置する。
処分要求書	提出者 藤川喜一 議員	一般質問での議事進行発言が認められていないにも関わらず、藤川議員の一般質問中に荒川議員が議事進行妨害を行ったとして、懲罰処分を求める。 【荒川議員の弁明】 一般質問は「あいねっと」で放送されており、特定の個人情報への発言に及ぶ恐れがあったため、個人情報保護及び守秘義務の観点から発言を制止するために発言した。
藤川喜一錦町議会運営委員会委員長に対する不信任及び解任決議	提出者 荒川孝一 議員 賛成者 池田秀晴 議員 早田和彦 議員 吉田眞二 議員 岡田武志 議員	議会運営委員会での議長の発言を拒否し、議会運営委員会に諮らず「嚴重注意処分」なる文書を議会運営委員長名で議長宛てに郵送、その旨を議員全員に周知した。議長に通告するべき一般質問の通告を「総務課長に通告した」として質問要旨を追加されようとした。 【藤川議員の弁明】議会運営委員会より私としては、誤った事実や不適切、間違ったことを指摘され、解任決議を出された。私は、解任される理由はない。

令和元年 第2回 表決一覧

(賛成=○ 反対=×)

議案名	議員名										
	早田	石松	吉田	竹田	藤川	岡田	上村	池田	右田	守永	荒川
処分要求書に対する委員会審査報告書について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	△
藤川喜一錦町議会運営委員会委員長に対する不信任及び解任決議	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○

第2回定例会一般質問事項一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
藤川議員	森本町政4期目の政治姿勢について問う。	①4/21執行の町長選挙について ②子ども医療費助成事業「償還払（立替え払）制度」の変更を求める一連の問題について ③木上地区の活性化について ④財政調整基金の考え方について ⑤副町長人事について
岡田議員	「町民の声より」 町民の安全を守るための対策は	①木上、あさぎり町を通る県道で、歩道の整備ができていない区間がある。長年の要望である。いつ出来る。 ②南部農道が走る、西・鍋山地区で大雨による災害が発生した。地域住民は不安を持っている。その対応策は。 ③近年、町内で事件・事故が多く発生している。早期解決や予防対策としての、防犯カメラの設置が有効ではないのか。
	狩猟免許取得のための受講料補助について	①補助の内容と免許取得者数
右田議員	錦町防災対策について	①町内危険個所の現地踏査はどのようにしておこなわれているか。（防災会議に至るまでの経緯） ②自主防災組織との連携は十分か。 ③町独自の防災訓練の必要性はないか。 ④町内関連下線の堆積土砂掘削計画はどのように進展しているか。
荒川議員	選挙広報のあり方について	①要介護者、障がい者の投票、どのように手続き説明をしているのか。 ②立候補者の説明は無論必要だが、投票者に対しての選挙違反等の説明をすべきではないか。
	森本町政、4期目のマニフェストについて	①新たに追加された16項目の詳細質疑 ②投資的経費と一般行政経費の財政経費のバランスについて
吉田議員	中山間地域等直接支払制度について	①制度上の除外地域は。 ②除外地域への町単独の補助はできないか。
	今後の畜産農家について	①畜産農家の状況と今後の対策は。 ②WCS飼料用稲栽培、収穫対策として町内の農家が栽培したWCSを、収穫した畜産農家にラップ代の補助はできないか。
	子ども教育安全対策について	①防犯カメラ設置の考えは。 ②学童保育の現状は。 ③道路の凹凸水たまりについて
池田議員	町民の声より	①県道入吉水上線（木上ファミリーマート）前の標識の撤去及び通学路の歩道拡幅はできないか。 ②小学生の通学路（木上平野～平良）堤防の草刈りを早めに行えないか。 ③平川地区の信号機設置の進捗状況は。
	子どもの成人病の対策は。	①朝食抜きの現状は。 ②寝返りの少ない子は注意。 ③お菓子の食べ過ぎ。 ④カルシウム不足
	安心して暮らし続ける地域づくりについて	①小・中学校の危険個所調査の現状と対策は。 ②町政座談会での要望に対する現状と対策は。
石松議員	町長の政治姿勢について	①マニフェストの実現に向けての取組みの中で（子ども医療費助成事業）の委任払いについて ②大型連休時の子育て支援に対する町の考えは。
	子どもたちの通学路の安全確保と高齢者の安全確保について	①高柱川の橋に歩行者専用の歩道橋の設置はできないか。 ②町道三丁指杉線の改良工事の完成時期について
	林業の活性化について	①錦町の町有林の状況とこれからの方針について ②錦町森林環境譲与税の活用について ③球磨中央地区林業活性化協議会の事業目的と目標について ④林業人材育成と働く場の確保について



藤川 喜一 議員

一般質問

町政の「じじ」が聞きたい

7人が登壇 (要約掲載)

森本町政4期目の政治姿勢を問う

町長選挙(4月21日執行)について

藤川 選管委員長に伺いたい。今回の選挙は議会の「自主解散」により町長と町議選挙が同日選挙となったが、投票率が前回より町長選挙が7ポイント、町議選挙が4ポイント上昇した。投票率上昇の原因についてどう分析されているか。

選管委員長 町長と町議選挙が同時となり町民の関心が高かったことが要因ではないか。選管として

も2月頃から相当の準備をやってきました。

藤川 選管委員長名で異例の文書(5月28日付「通知」)へ別添布写真が発出された。この文書が発出された意味理由は何か。選管委員長 「選挙」は4年後もあるし指摘された候補者だけでなく、これから選挙をする人の為にも共有してもらいたくこれからの選挙運動を意識して、こういうことはやってはいけない(禁止項目)というのを理解いただきたく発出したものである。

藤川 町長自身も選挙直前の4月9日に町内の保育園(数ヶ所)の前でマニフェストのビラを配りながら支持を求めていたという事実が確認されている。選挙違反ではないのか。

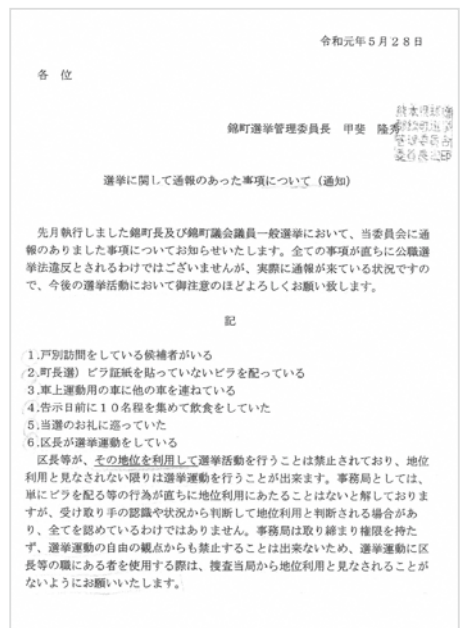
選管委員長 難しいところだが検討するべきことだと思ふ。今ここで私の判断を申し上げることはできない。

藤川 町長選挙の結果について町長に伺う。投票者の4割余りが対立候補の得票であった。森本町政3期に対する批判票であると考えられるがこの選挙結果についてどう分析されているか。

町長 民主主義の最たるものが選挙、いわゆる多数決であるので支持されたと考えている。4割余の方が支持されなかったことは真剣に謙虚に受けとめていきたい。

子ども医療費助成事業「償還払」(立替え)の変更を求める一連の問題について

藤川 一般質問で何度も求めている



選管委員長発出の「通知」文書

※本人の希望により、原文のまま掲載

※その他に「野間団地問題」についても質問した。

藤川 準備期間が5ヶ月ならば来年4月まで待つ必要はない。準備出来次第早急に取り組まれない。

「市民の声より」

市民の安全を守る対策は



岡田 武志 議員

岡田 木上、あさぎり町を通る県道で歩道がない区間がある。地域住民の長年の要望であるが、いつ出来るのか。

地域整備課 平川地区の交差点からあさぎり町までの延長400メートルの区間が、歩道未整備となっている。これまでも、県に事業要望しており、今回の歩道未整備の区間も含めて要望を行っていく。
岡田 歩道が狭いとか、通りにくいという話ではない。子供達の通学路としては大変危険な区間である。町長の考えは。



歩道未整備の区間

町長 私も現地を見て来た。今後においてもしっかりと担当を通じ、或いは地元の県議会議員もおられるので、相談しながらしっかりと要望をしていく。

岡田 南部農道が走る鍋山地区で大雨による災害が発生し、地域住民の方々が、大変不安を持っている。

る。

農林振興課 昨年6月19・20日の豪雨で、現場の南側一帯が土砂崩落等起した。町において排水路に堆積した土砂除去を行い、山林所有者に連絡を取り対応をお願いした。県とも協議し、地権者と協議の上、砂防堰堤などといった治山対策が可能か、相談をしていく。
総務課 防災の立場から、今回新たに町指定の危険箇所指定した。消防と連携し、避難指示等を行っていく。

事件事故が発生している。防犯カメラの設置が有効では

岡田 今回の予算の中で、防犯カメラの設置に400万円計上されている。近年、町内での事件、事故が多く発生している。私も以前は、監視社会に繋がるのではと思っていた。現在では、防犯カメラは事件の解決、事故の防止、事故の究明に不可欠となっている。各分

館の主要道路、施設にも設置することが有効だと思う。

町長 監視カメラの無い社会が一番理想だと思う。今回12ヶ所分を補正しており、警察と協議しながら、必要な場所があれば検討していく。

狩猟免許の受講料補助は

岡田 補助の内容と免許取得者数は。

農林振興課 免許を取得するには、講習会を受けていただき、さらに印紙代、診断書料がかかる。総額2万円ほど必要でその内受講料1万円を補助している。また、鳥獣被害対策実施隊に34人加入していただいている。

岡田 講習会は球磨郡では6月に行われている。農繁期で時期が悪く、狩猟免許を持ってもらえる人も高齢化している。いろいろな面での対策、補助をお願いする。

錦町の防災対策は万全か



右田 宣之 議員

右田 今年も梅雨の季節が到来し、近年の降水の特徴は、短時間に多量の降水量であり、被害が甚大となるのは歴然としている。それらを踏まえ町内危険箇所現地踏査はどのような形で行われているか。またそのメンバーはどのような方か。

総務課 現地踏査は、防災会議後に消防団幹部会議を開催しているが、その前に実施している。メンバーは町消防団幹部、消防組合東分署長、そして消防担当職員で実施している。

右田 答弁の中に各分館の自主防災組織のトップである分館長は出ていないが、自分の分館の危険箇所を現地確認し地元住民に周知してもらうことは非常に重要と思う。従って、是非検討願う。

総務課 地元に関することを分館長が役員等に周知することは、非常に大事であると思うので、そのような形で今後進めて行きたい。

右田 昨年11月10日に県主催の総合防災訓練が実施されたが、いくつか反省点も見えて来たので、色んな災害を想定し、自主防災組織の機能を高め地域防災力を強化するためにも、町独自で防災訓練を計画できないか。

総務課 訓練の必要性は重々承知するも、実施時期や訓練内容などそれに地元住民の協力も必須であるので分館長会等で十分協議し検討する。



西コミセンに隣設した防災備蓄倉庫

繰越予算で実施すると聞いています。更に6月議会で補正予算措置となっているが具体的な河川名は公表されていない。

右田 昨年の繰越として小さで川の掘削をするとのことであるが、人命に関わる河川もあるので積極的に要望をしても構わないが町長の見解は。

町長 県管理、町村管理において土砂の堆積は、県内どの河川でも見られる状況である。それに町内の他の河川、大谷川、水無川、野間川についても要望があっており、私達としては一挙に掘削を望むところである。

県としては、県内全域を見たとき予算の関係でそうもいかない状況ではあるが、今後もしっかりと要望をして町民の負託に応えたい。

右田 昨年の6月定例議会一般質問で町内関連8河川いずれも土砂が堆積している。これを放置すると集中豪雨時には水位が上がり危険な状態となり、人命に危険を及ぼすこともあり得ると訴えたが、一年経過しどのように進展したか。

地域整備課 今年度の河川掘削については、昨年実施の小さく川を

誰もが投票できる環境を



荒川 孝一 議員

荒川 今日、投票率の低下が嘆か
れているが、これはただ有権者の
投票意欲の低下だけに起因するも
のではないと思っている。投票所
が遠いと高齢者から聞くこともあ
る。そこで大事な選挙、要介護者、
障がい者の投票で郵便投票が出来
るようになっている。町は手続説
明をしているのか。

総務課 郵便等による不在者投票
の制度等があるが、申請など何度
か書類のやり取りが必要で時間が
かかる現状があり、町としてはし



荒川 ハード面のバリアフリーで
はなくソフト面のバリアフリーの
充実という意味で質疑している。
郵便投票は確かに手間がかかる。
だから案内しないのか。それはそ
ちら側の言い分であり、投票する

移動投票所にできないものか

側の言い分ではない。要介護者、
障がい者にも平等に投票権がある。
せめて、そういう制度があるとい
うことの案内をするべきではな
いか。

町長 指摘の点については重々
反省をし、以後改善していく。

荒川 誰もが投票ができる環境
を整備する。事前投票も役場一
室で数時間ではなく、各地区コ
ミセンで出来るような仕掛を検
討してもらいたい。

財政とマンパワーについて

荒川 今後、税の収入増加は見
込めない。自然と留保財源は減
少し公債費負担に耐える体力も衰
える。その為の財政調整基金の上
積みは必要だと私も思っているが、

ただ、結果的にしわ寄せが人件費
削減にきているのではないか。役
場では各課人手が足りない、サー

ビス残業が多いと聞く。マンパワー
の疲弊が出てくるのではないだろ
うか。

町長 平成19年町長に就任した頃、
財政調整基金がどうしようもない
程落ち込んでいたが、あらゆる努
力をして現在までに至った。今後
においては町予算、或いは全体
的なその固定資産税も含めてどん
どん減っていく。将来の為、辛抱
するところはしっかりと辛抱しなけ
ればならない。私は職員には将来
を見越すように言っている。確か
に固定経費で人件費が一番掛かる。
その中で住民のサービスが低下す
ることとなれば問題だと思ってい
るので、そういうことがない程度
に、今後も職員の定数管理につい
てはしっかりとしていきたい。

荒川 町の運営においては、マン
パワーは重要だと思う。マンパワー
の能力、意欲が削がれないことを
望む。

錦町中山間地域等直接支払制度



吉田 眞二 議員

吉田 今回事業に該当しない地区地域で営農されている農家も適正に管理作業をしておられる。木上地区、野間から迫地域にかけては、ポンプアップ、或いは雨水、湧水

で水稻栽培、なぜ中山間地区で無いのか。錦町は剣豪とフルーツの里、急傾斜地、緩傾斜地で果樹を栽培されている。なぜ除外なのか。**農林振興課** 国は平場との農業生産条件の格差を補正する予算措置、錦町は県知事特任地域として地域指定を受け条件として急傾斜地、一段1ヘクタール以上の農用地、

一体的な管理が必要な農地、緩傾斜地も対象。仮に急傾斜地がなければ錦町は中山間地域等直接支払制度の対象外。

吉田 知事特認で事業が始まるが野間から迫地区は条件に該当しない。事業に外れた四ノ井出、覚井、永井田、球磨川水系、木上溝水系、約400haは排水が悪く裏作が耕作できない圃場が有る。外れた地域も守るべき農地、地域と思う。該当しない地域に町単独で補助、応援は出来ないか。

農林振興課 国、県、町で3分の1ずつ1,200万円錦町は900万円の措置があり実質300万円の事業費、仮に3,000円交付すると3,000万〜4,000万必要。今年度からの取り組みで成功に導き本来の目的の生産条件の不利な地域を支援していく。

吉田 町民の方々からの要望があるので今後もこの問題に取り組んでいきたい。

学童保育の現状について

吉田 町内で学童保育は何ヶ所で行われているのか。また木上地区は平成27年度までで閉鎖。どのような経緯で閉鎖されたのか。

住民福祉課 放課後児童クラブは現在町内3ヶ所、西校区2ヶ所、一武校区1ヶ所、木上校区は保護者運営の児童クラブが平成28年度から閉鎖。最終的に2人の利用希望で支援員の人件費が捻出できなくなり閉鎖の判断をされた。現在木上地区で開設できない理由は、支援員、補助員の確保と実施場所の確保が厳しい事。子育て支援として、校区ご



一武校区の放課後児童クラブ

とに放課後児童クラブは必要と感じており、教育振興課と連携して実施場所、支援員の確保等問題解決を図って進めていきたいと考えている。

吉田 校区ごとに放課後児童クラブは必要と認識され、設置を前提に解決に当たるとの事。子供の安心安全の為に支援を願いたい。

市民の声より



池田 秀晴 議員

池田 県道人吉木上線のファミリーマート前の標識の撤去はできないか。

総務課 横断歩道の標識につきましては、公安委員会の管轄であるので、撤去まで含めたところで確認をお願いしている。

池田 歩道の拡幅（野間のバス停から旧中野繊維工場）を現地調査の上、熊本県に要望できないか。

教育長 児童生徒の通学路の安全確保のために現地を再確認しながら、県のほうへ担当課と連携して、今後県に要望を行う。



野間バス停 歩道の現況

池田 小学生の通学路、木上平野から平良、堤防の草刈りを早められないか。

地域整備課 木上小学校の通学路となっている町道平良堤防線の草刈りの実施時期については、国土交通省と協議を行い、適切な時期に実施できるよう努めていきたい。また、年2回の除草を今後は回数を増やすなどして対応したいと考

えている。

池田 平川地区の信号機設置の要望をしてから3年たったが、進捗状況はいかがか。

総務課 区長に話をして、要望書を受けつけた上で、仕事を進めていきたい。

子どもの成人病の対策は

池田 発育盛りの子どもが朝食を抜くと、体の機能低下につながり、脳の神経を退化させ学力の低下にもつながる。そこで、朝食抜きの実状は。

健康保険課 乳幼児健診時に一日の食事について全員へお尋ねし、1歳6ヶ月児で96%、3歳児で97.1%となっている。

教育振興課 小学校では629人中食べてくる児童は540人、食べてこない児童は89人となっていて、中学校では、319人中食べてくる生徒は258人、食べてこ

ない生徒は61人となって、中学生になると朝食を食べないで登校する生徒が増える状況にある。

教育長 学力が高い子どもほど、生活習慣の調査を見ると、ほとんどの子どもが9時に寝て、朝食を欠かさずに食べていて、朝食の品数が多いほど、学力の向上が見られる。

池田 骨折しやすい子どもが多いということは、カルシウム不足では。

健康保険課 乳幼児健診では、保護者に対し栄養士が栄養講話の中で、カルシウムを含めた説明をしている。

教育長 子どものころからの悪い生活習慣の蓄積によって起こるこゝとがわかっているので、健康づくり推進会議の席で取りあげていき、食事編、運動編についても親子で指導を受け、健康の大切さについて考える良い機会となっていて、子どもたちの健康について、積極的に推進したい。

子ども医療費の委任払いの実現に向けて

石松 マニフェストでは、医療費の支払い方法を委任払いに変更した制度に取り組みられるとされたが、時期と制度の内容についてお尋ねする。

住民福祉課 医療関係機関との調整、住民への周知、子ども医療費受給者等の発効などを含め、来年4月実施を予定。また県内の医療機関を対象として現物、償還併用方式を考へながら現物給付制度への準備を進める。

石松 錦町人口ビジョンのアンケートの中で67%の人が、子ども医療費助成制度が一番役に立って



石松まゆ子 議員

いる子育て政策と答えられている。経済的負担の軽減を図る施策として、他町村と足並みをそろえながら、進められるようだが、町長の考えを伺いたい。

町長 私も、他町村並みにやりたいと思っている。しかしいろいろな角度から検討しながら住民の皆様方に、この制度について説明をして、実施に向けて準備をしていきたい。

石松 制度の仕組みの周知、受診回数、時間外受診の増加を抑える取り組みなど、子育て中の皆さんと話し合いを持っていただく提案をしたい。その中で一日も早い委任払いの実現を望む。

高柱川の橋に歩道橋の設置を

石松 近年の車社会の変化に伴い、

鉄工所・畜産・建設業者等の事業所もあり、大型車の交通量も多い。子ども達の通学路の安全と、電動車に乗られている高齢者の安全確保のために、歩道橋の設置はできないか。

地域整備課 橋梁の長寿命化と歩行者の安全確保のためにも、計画的に事業を進めていく必要がある、道路改良も含めた検討が必要と考へている。

石松 高齢者の深刻な交通事故が社会問題になっている。免許証を返納され、電動車に乗られている高齢者の安全確保のためにも歩道橋の設置を。

町長 必要性は考える。道路整備の中で進ませていただき、振興計画には上げていきたい。

通学路の改良工事の完成は

石松 指杉線のタナカ薬局までの通学路の歩道工事の進捗状況と用地買収はできているのか。

地域整備課 完成時期は令和5年度の完成を目指し事業を進めており、用地買収の補正予算をお願いしている。

石松 予算もあると思うが、子ども達の安全のためにも前倒しして、一日も早い完成を願っている。

森林環境譲与税の活用は

農林振興課 森林管理の事務を明確化し森林所有者の意向にそって進める。



狭くて危ない橋

議会のうごき

4月	21日	・錦町議会議員一般選挙	26日	・平成31年第2回臨時会
	23日	・議員懇談会		
5月	8日	・全員協議会	20日	・例月出納検査（～21日）
	10日	・春の交通安全運動出発式	21日	・国道219号整備改良促進期成同盟会総会
	11日	・球磨中央高校体育大会	22日	・広報特別委員会
	12日	・剣豪「丸目蔵人」顕彰少年剣道選手権大会		・錦町商工会通常総会
	14日	・広報特別委員会		・人吉地区防犯協会連合会評議員会
	15日	・定例郡議長会議	24日	・人吉球磨広域行政組合議会臨時会
	17日	・球磨郡監査委員連絡協議会定期総会	26日	・西小学校運動会
	18日	・人吉下球磨消防組合議会臨時会	28日	・全国町村議会議長・副議長研修会（～29日）
	19日	・錦中学校体育大会	30日	・人吉球磨広域行政組合議会臨時会
	6月	3日	・議会運営委員会	10日
		・全員協議会	19日	・議会運営委員会
4日		・熊本県町村議会議長会議長研修会	20日	・例月出納検査（～21日）
		・熊本県町村議会議長会議臨時総会		・錦町中山間活動組織の設立総会
7日		・定例郡議長会議	24日	・決算審査（水道事業）
			・令和元年県庁職員会懇親会	



正副議長 東京研修と要望活動

全国町村議会議長会の正副議長研修会が5月28日に東京で開催され、「議員報酬の現状と今後のパネルディスカッション」と全国各地の議会改革の取り組み事例が紹介された。全国的に議員数も減り、特に若い世代の議員が減っている。議員報酬の額との因果関係が、データとアンケートで分析されている。

又、翌29日は、熊本県内町村議会正副議長による県関係国会議員（衆参合わせて12名）への合同要望が開催された。球磨郡町村議会からは①球磨川における抜本的な治水対策の促進について ②球磨地域幹線道路網の整備促進についての2項目を要望した。その中で錦町関係は国道219号線球磨中央高校前交差点の改良を要望した。

町村議会議長研修会

演題：「チーム議会のすすめ」 時期：7月8日
 場所：グランメッセ熊本コンベンションホール
 講師：早稲田大学マニフエスト研究所事務局長、熊本市政策参与 中村 健氏
 出席者：金山、池田、岡田、藤川

中村先生は、JR四国の社員を経て平成11年、27歳で徳島県川島町長に初当選、全国最年少の首長となり、町村合併により退職、現在に至っておられる方で、議会と町村長（執行部）との違いや、有権者（町村民）との関係について講演された。議会運営委員会の役割、議会は誰のもの？改めて考える機会となった。議員一人では大した仕事は出来ない。多くの人の力や、思いによって成り立っていることを再認識した研修であった。人の話を聞くことが出来なければ、話は出来ても、話し合うことは出来ない。

【広報特別委員会】

委員長	荒川 孝一	委員	池田 秀晴
副委員長	早田 和彦		岡田 武志
			石松 まゆ子
		議長	金山 幸民